再評価結果（平成２８年度事業継続箇所）

担　当　課：環境安全課
担当課長名：菊地　春海

事業名	主要地方道　福山沼隈線（草戸～熊野工区）	事業区分	地方道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県福山市草戸町　　至：広島県福山市熊野町			延長	４．５km

事業概要　主要地方道　福山沼隈線（草戸～熊野工区）は、福山地方拠点都市地域の南方向の幹線道路として、一般国道2号福山道路と接続し、福山市中心部と沼隈半島地域との連絡を強化する道路であり、朝夕の通勤時間帯を中心に慢性的に混雑している現道の主要地方道福山沼隈線の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保並びに円滑な緊急活動や災害時の緊急輸送道路の確保等を目的とし広島県福山市草戸町～広島県福山市熊野町までの延長約４．５ｋｍを整備するものである。

Ｈ１２年度事業化	Ｈ１２年度都市計画決定	Ｈ１６年度用地着手	Ｈ１８年度工事着手

全体事業費	約２５０億円	事業進捗率	約４７％	供用済延長	― km
計画交通量	5,900～22,100台／日				

費用対効果分析結果	Ｂ／Ｃ	総費用	総便益	基準年
	(事業全体)　３．３ (残事業)　７．１	(残事業)/(事業全体) 111/239 億円 事　業　費：109/238億円 維持管理費：1.6/1.6億円	(残事業)/(事業全体) 782/782億円 走行時間短縮便益：693/693 億円 走行経費減少便益：66/66 億円 交通事故減少便益：22/22 億円	平成２６年

感度分析の結果

(事業全体)
交通量　：B/C=2.9～3.6（交通量　±10%）
事業費　：B/C=3.0～3.6（事業費　±10%）
事業期間：B/C=3.0～3.5（事業期間±20%）

(残事業)
交通量　：B/C=6.4～7.8（交通量 ±10%）
事業費　：B/C=6.4～7.8（事業費 ±10%）
事業期間：B/C=6.5～7.2（事業期間±20%）

事業の効果等

・福山中心部と福山市南西部及び沼隈町方面地域を連絡する道路として地域間交流の促進が図られる。
・朝夕の通勤時間帯を中心に慢性的に混雑している現道の福山沼隈線の交通渋滞が緩和される。
・事業完成後、第一次緊急輸送道路に位置づけられ、災害時の緊急輸送道路の確保が期待できる。

関係する地方公共団体等の意見

・地元の福山市は、福山市の自動車交通における課題である南北軸の機能強化及び福山道路等と一体となって放射環状型幹線道路を構築するために、主路線である本線の早期整備を強く望んでいる。

事業評価監視委員会の意見

事業の必要性と費用便益比を勘案し、継続実施については妥当である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

福山市は平成15年2月3日に内海町、新市町、平成17年2月1日に沼隈町、平成18年3月1日に神辺町と合併。

事業の進捗状況、残事業の内容等

用地取得率約９４％、事業進捗率約４７％

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き工事及び用地買収を推進し、早期完成を目指す。

施設の構造や工法の変更等

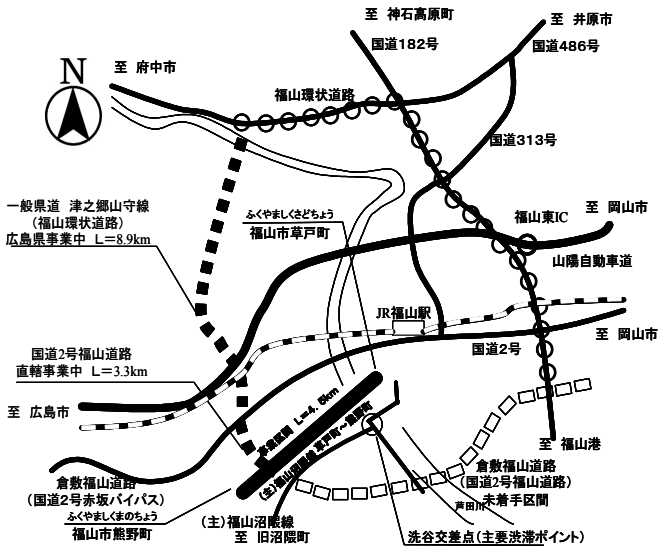
橋梁、トンネル等の構造物設計において、工法の見直しによる工事コストの縮減等を図っている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。